

神戸地本「支部・分会・部会・青年女性委員会代表者会議」開催

第37回定期中央本部大会に向け、神戸地本 意思統一を図る！

JR西労組神戸地本は、6月24日(火)、兵庫区文化センターにおいて、「支部・分会・部会・青年女性委員会代表者会議」を開催し、神戸地本管内の各級機関の代表者約50名が出席した。

冒頭、主催者を代表して大内委員長は、2024年度期末決算に触れ、「北陸新幹線の敦賀延伸や大阪プロジェクト開業、インバウンド需要増等によって、連結では過去最高となる営業利益を計上し、単体における運輸収入についてもコロナ前まで回復している。2024年度の高収益は紛れもなく組合員の皆様の努力の賜物である。また、収益の約4割はグループ会社によるものであり、グループ会社の存在なくしてJR西日本の成長はない状況である。本体とグループ会社との権威勾配をなくし、お互いに配慮し、助け合いながら働きやすい環境作りに努めていく必要がある、そういった思いを皆さまで共有しておきたい」と述べ、本部大会に向けた主要課題として組織、業務課題について挨拶を行った。

組織については、「神戸地本管内では、社会人採用、カムバック採用、2025年度新入社員105名を含め、214名全員のJR西労組加入を果たすことができたことに感謝申し上げる。今後もJR西労組の必要性を伝え、求心力を高めていく運動を展開していくとともに、地本・支部・分会・青年女性委員会が連携を高め続け、取り組みを継続していきたい」と述べた。

業務課題については、「PDCAサイクルを労働組合がしっかりとチェックし、現場目線での労使協議を進めて



日頃の活動への感謝も含め代表挨拶を行う
大内委員長



現場の声を述べる参加者たち

いかなければならない。労働力不足によって様々な変化が生まれているが、少数数でも効率的で働きやすい環境整備に向け、系統や職場における課題について意見をいただきたい」と述べた。

最後に、第27回参議院議員選挙に触れ、「選挙権は我々国民に与えられた大きな権利である。各級役員や組合員に選挙に行くよう伝えていただき、皆さんも期日前投票も利用しながら選挙には是非行きましよう！」と呼びかけた。

本部大会に向けた意見集約では、8名から組織課題や業務課題、各種制度、各種手当など17項目の意見が上がり、神戸地本執行部が答弁を行った。

続いて、7月に開催される「第37回定期中央本部大会」での神戸地本選出の代議員が発表され、それから本部大会へ向けた力強い決意表明を行った。会議で出された現場の生の声を含め、積極的に本部大会での議論に参加することを確認し、代表者会議は終了した。

代表者会議での質疑内容

- ・救済共済について
- ・短日数勤務制度の見直しについて
- ・女性設備の拡充について
- ・育休取得に伴うフォロー体制について
- ・車両の部品不足、製造中止物品について
- ・中高年層への処遇改善について
- ・名札の廃止について
- ・制帽省略の通年化について
- ・駅舎の老朽化について
- ・社会人採用者に対する教育のあり方について
- ・万博一時金の要求について
- ・新制服について
- ・加古川線増発施策への対応について
- ・近年の会社施策の進め方について
- ・スパーはくと車両の老朽化について
- ・乗務員勤務制度について
- ・外注化や機械化による要員不足について

「第37回 定期中央本部大会」代議員決定

7月16日(水)～18日(金)、福岡アイランドシティフォーラムにおいて、「JR西労組第37回定期中央本部大会」が開催されます。

中央本部大会代議員選挙が行われ、神戸地本からは10名の代議員が選出されました。10名の代議員は、神戸地本の代表として、現場で働く仲間の声を代弁し、課題解決に向け、熱い議論を展開していく決意で臨みます。

氏名	所属職場
須原 和也	相生駅
石原 正明	明石車掌区
松野 祐樹	土山駅
松浦 正義	姫路列車区
關 涼香	元町駅
東 歩	垂水駅
小方 隼	姫路駅
鳴瀬 沙也加	加古川駅
後藤 優佳	加古川駅
那須 宰	姫路電力区



本部大会へ向け、
決意表明を行う代議員団

今後の主な予定

- ◇ JR西労組第37回定期中央本部大会
日時 7月16日(水)～18日(金)
場所 福岡アイランドシティフォーラム
- ◇ 第33回定期神戸地方本部大会
日時 8月8日(金)
場所 神戸三宮東急REIホテル

JR西労組 LINE登録のお願い

春闘や労働協約改定交渉などJR西労組運動の情報がダイレクトに皆さんの元に届きます。
JR西労組LINEの登録をお願いします！！



「友だち追加」から
「ID検索」または
「QRコード」で登録！
@dzc015

LINE@
はじめました！